

世界各国の技術を活用した高付加価値商品 伝統技術の発掘に外国人留学生を活用

2002年に米国に法人を設立し、海外の文房具類の輸入や日本の文房具の輸出業務を開始。2011年に同社を設立し、米国法人の業務を移管した。国内メーカーの万年筆の卸売をしていたが、近年は、自社ブランドの万年筆、時計、鞆等の製造も行っている。また、外国人材を積極的に採用して、世界の技術を組み合わせ、オリジナリティのある万年筆を製造・輸出しており、他社製品との差別化に努めている。

●所在地 大分県豊後高田市高田宮町862-3
●電話/FAX 097-824-0588 / FAX番号なし
●URL <https://jp.wancherpen.com/>
●代表者 代表取締役社長 岡垣 太造

●設立 2011年
●資本金 10万円
●従業員数 7人



需要獲得

ものづくり

高付加価値の商品割合を高めていく

同社の強みは自社製品を企画・製造して販売することである。「安いから海外」ではなく、その国ならではの技術を活用することで、付加価値が高い商品を顧客の手に届けるとともに、海外の知られざる技術を知ってもらうことを意識している。まだ既存製品の卸販売が占める割合が大きいですが、将来的に高付加価値の自社製品の割合を徐々に高め、世界各国に販売していくことを考えている。



雑誌 (Made in Japan世界へ!) で紹介

クラウドファンディングを活用した資金調達

高級万年筆「夢 万年筆」の開発をするために、2018年にクラウドファンディングによる資金調達を実施した。これは、立命館アジア太平洋大学出身の外国人社員の発案による初めての試みであった。1本数万円と高価格帯にもかかわらず、欧米や東南アジアの海外投資家を中心に、約700名から合計約3,000万円の資金調達に成功した。

この資金を活用して、日本の漆塗りや蒔絵を施したものを含む、6種類の万年筆を開発。将来的には一般販売も視野に入れている。



高級万年筆「夢 万年筆」

元留学生が開拓した販路を活用して輸出

以前はECサイトを活用して、国内メーカーの文房具類を米国や中国等に輸出していた。近年は、海外の販売代理店や同社のウェブサイトを通して販売・輸出している。販売代理店は、同社で勤務経験を積んだ元留学生が運営しており、商品についての理解がある。また、既に同社とは信頼関係が構築されていることから、トラブル等を気にすることなく安心して取引できるのが強みである。現在、売上全体の約70%が輸出によるものである。



社員登用した外国人留学生